衛生研究所WEBページ情報

(アクセス件数・順位 20年度10月分、電子メールによる問い合わせ・追加・更新記事 20年度11月分)

横浜市衛生研究所ホームページ(衛生研究所WEBページ)は、1998年3月に開設され、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。

2008年4月、市民にわかりやすくかつ迅速な情報提供を目指して、リニューアルを行いました。

今回は、2008年10月のアクセス件数、アクセス順位及び2008年11月の電子メールによる問い合わせ、WEB追加・更新記事について報告します。

なお、アクセス件数については行政運営調整局IT活用推進課から提供されたデータを基に集計しました。

1 利用状況

(1) アクセス件数 (2008年10月)

2008年10月の総アクセス数は、136,797件でした。主な内訳は、感染症58.0%、食品衛生17.8%、保健情報7.3%、検査情報月報2.8%、生活環境衛生2.1%、薬事1.9%でした。

(2) アクセス順位 (2008年10月) 10月のアクセス順位(表1)は、第1位が「マイコプラズマ肺炎について」、2位が「百日咳について」でした。

3位に「ライノウイルスについて」が入りました。

ライノウイルスは、鼻やのどの 上気道に炎症をおこし、特に春 (5 - 7月)と秋(9 - 11月)の季節 の変わり目に多い風邪の原因ウ イルスといわれています。

6か月以上の乳幼児での感染が主ですが、大人もかかり2分の1

表1 2008年10月 アクセス順位

	次1 2000年10月 アブビス順位	
順位	タイトル	件数
1	マイコプラズマ肺炎について	11,124
2	百日咳について	4,985
3	ライノウイルスについて	3,766
4	インフルエンザワクチンについて	3,604
5	電子パンフレット(MRSA)	2,929
6	英字略語集(ABC順)	2,149
7	ちょっと専門的なデータシート	1,789
8	電子パンフレット(レジオネラ症を防止するために)	1,428
9	感染症発生状況	1,410
10	大麻(マリファナ)について	1,336

データ提供:行政運営調整局IT活用推進課

から3分の1は、ライノウイルスが原因とされています。また、RSウイルス感染症の流行と関係があるとも言われており、2歳以下の喘鳴の原因としてRSウイルスが多く、2~16歳の喘鳴はライノウイルスが原因のことがあります。

2008年の横浜市のRSウイルス感染症の流行は、患者報告数の立ち上がりの時期が例年と比べて早く、37週(9/8~9/14)から報告が増え、定点あたりで昨年の3.5倍、48週(11/24~11/30)16倍と、非常に多い状態です。

国立感染症情報センターの報告でも、全国的に立ち上がりがはやく、2008年第41週(10/6~10/12)からの報告が多く、今後の発生動向にはより一層の注意が必要であると注意を呼びかけています。

(3) 電子メールによる問い合わせ (2008年11月)

2008年11月にホームページのお問合わせフォームを通していただいた電子メールによる問い合わせの合計は、3件でした(表2)。

表2 2008年11月 電子メールによる問い合わせ

内容	件数	回答部署
大人の百日咳について	1	衛生研究所
半生の「とリわさ」のレシピについて	1	衛生研究所
次亜塩素酸水について	1	衛生研究所

2 追加·更新記事 (2008年11月)

2008年11月に追加・更新した主な記事は、11件でした(表3)。

表3 2008年11月 追加·更新記事

掲載月日	内容	備考
11月5日	RSウイルスによる気道感染症およびパリビズマブ(シナジス)について	更新
11月5日	水痘(水疱瘡)・帯状疱疹について	追加
11月11日	感染症に気をつけよう (11月号)	追加
11月12日	ウエストナイルウイルス(蚊)の検査結果	更新
11月17日	横浜市感染症発生動向調査事業概要 平成18年(2006年)	追加
11月18日	横浜市人口動態統計資料(平成19年)	追加
11月21日	ロタウイルスによる感染性胃腸炎について	更新
11月26日	横浜市における麻しん患者届出状況 (2008年)	更新
11月27日	ヘモフィルス-インフルエンザb型菌(Hib)感染症について	更新
11月27日	英字略語集(ABC順)	更新
11月28日	高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の発生状況	更新

【 感染症·疫学情報課 】